



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

人権・平和集会



8月31日(火)、人権・平和集会を行いました。この人権・平和集会は、集会委員会が司会進行を務め、オンラインで行いました。菱岡先生による『お父さんへの千羽鶴』の読み聞かせでは、平和や命について考えました。集会委員会の終わりの言葉では、「・・・みなさん、どんなことができるでしょう。ぼくは、友達と仲良くすることから始めていきたいと思います。」と書いてくれました。学年によって戦争への理解度は異なるかもしれませんが、この人権(平和)集会を通して子どもたちは、いのちを大切に、平和な世の中をつくるために自分のできることをしていこうという気持ちも高まったと思います。この後、6年生代表が千羽鶴についてや千羽鶴を折る意味を説明し、「長崎への修学旅行で捧げる千羽鶴をみんなで折りましょう」、と呼びかけました。各教室では、6年生が鶴の折り方を教え仲良く鶴を折っていました。これからも、生命の大切さや尊さを知り、平和を願い続ける子どもたちでいてほしいと願っています。ご家庭でも、平和な世の中をつくるためにどのようにしていけばいいか、話してみてください。



新型コロナ感染予防対策

第19号でもお願いしていましたが・・・新型コロナの感染拡大が止まりません。どんなに



注意していてもいつの間にか感染してしまっているというのが現在のコロナ感染の怖いところです。そこで、学校でも、今までの感染予防対策を見直し、これまで以上に感染予防対策を講じていきます。まず、休み時間後などに密になる児童昇降口でのマスク着用を徹底するために、「マスクゾーン」をつくり、そこでマスク着用をさせるようにしました。それから、校舎内の換気や授業中の換気、給食の黙食など、これまで行ってきた対策をさらに徹底させていきます。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使った学習や体育の学習などは、授業方法も見直していきます。さらに、来校者への対応も変更していきます。(後日、配布するプリントをご覧ください) 3密には十分気をつけて生活していかなければいけません。しかし、「人権・平和集会」で学んだ、「みんなが安心してすごせるよう、相手を思いやるあたたかい心」を忘れず、心の密やつながりはもたせていきたいと思います。ご理解・ご協力をお願いします。

学校評価について

1学期末は、お忙しい中、各種アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を大切に、子どもたちのためにより一層努力していきます。いただいたご意見の中には、たくさんの感謝の言葉が綴られていました。職員を代表してお礼申し上げます。今後も、教育活動へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。
*裏面：〈評価のおもな考察〉

おもな項目について下のように考察と改善案等を検討しています。今後ともご協力をよろしくお願いします。

番号 項目	考察・改善案等
1 学校教育目標	学校だよりやHP等により周知が進んできたと感じています。今後もさらに学校目標がもっと目に触れるように工夫したいと考えます。具体的には、学校だよりだけでなく学年・学級だよりでも取り組んでいきます。
2 情報発信	昨年とほぼ同等でした。PTAの会議や行事等の機会を生かして、お知らせをしていきます。これからも学校や学年行事等の様子を知らせるために、HPのこまめな更新を行っていきます。
3 学力向上の取組	今年度は、学力向上を図るために一人1台端末や電子黒板等のICTを活用した指導法改善に取り組んでいます。98%の保護者に好意的な評価をいただいています。今後もICTを活用した授業改善に継続して取り組み、個に応じた指導の充実や協働的な学びの活性化を図っていきます。また、学習規律を守る取り組みも併せて学校全体で実施していきます。
4 家庭学習	保護者の評価は、「3」以上の割合が82%でした。また、「家庭学習頑張ろう週間」時の調査では、学年で決められた家庭学習時間を達成することができた児童の割合は、平日が90%、土日が77%となっており、休日の達成率は伸びています。休日の家庭学習に関しては、学校からの課題に取り組むだけでなく個に応じた目的をもった活動を推奨することで、家庭学習を毎日行う習慣の確立を図っていきたくと思います。
5 いじめ防止	昨年度と同じ、3.3の評価でした。児童の評価は、「友達を大切にしているやさしくしている」で「4」が78%と回答していました。毎月のなかよしアンケートを実施して対処してきます。教育相談会と職員連絡会を活用して些細なことも連絡を取り合い、対処してきます。
6 子どもの安全	保護者アンケートの結果96%、児童アンケートでは97%の割合でできているという回答でした。子どもたちの安全は最優先されるべきです。期待に応えるべく、交通事故や事件、事故防止に向けて、子どもたちへの日ごろ指導の充実と施設設備の整備、点検等を引き続き行っていきたくと思います。
7 読書指導	児童の評価「3」以上の割合は87%で、朝読書の取り組みもあり、よく本を読んでいると感じています。また、図書室もたくさん利用しています。保護者の評価は「3」以上が76%で、昨年度より少し上がっています。これからも継続して家庭での読書を奨励していきたくと思います。
8 仁比山大好き	「仁比山小学校が好き」と答えた児童の割合は91%、「子どもは仁比山小学校が好き」と答えた保護者の割合は99%であり、多くの児童が学校によい印象を持っていることが分かります。今後も安心して学校生活を送れるように、学校環境を整えたり、仁比山地区の長所や素晴らしさを生かした教育活動を展開したりしていきたくと思います。
9 あいさつ等	児童の評価は「4」が66%と最も多いのですが、保護者は「3」が50%と最も多く、「2」と答えた割合が16%と児童よりやや高くなっています。家庭や地域でも認められる挨拶や言葉遣い等の指導を連携して、情報交換しながら引き続き取り組んでいきたくと思います。
10 きまりの遵守	保護者の回答では「4」が38%、「3」が54%ときまりを守っているという意識が高くなっています。大きく規範意識から外れた行動は少ないのですが、日々の学校生活の中できまりを守れない児童も見られます。誰の目に見ても落ち着いた行動ができ、規範意識の高い児童を育成できるよう取り組んでいきたくと思います。
11 規則正しい生活	保護者も児童も91%の割合でできていると回答しており、約1割の保護者も児童もできていないと考えておられるようです。学校便りや学級便りを通じて早寝・早起き・朝ご飯の重要性を引き続き、啓発していく必要があると考えます。
12 家庭との連携	「学校生活について子供と話をする」と答えた保護者の割合は92%で、学校の様子は、ほぼ伝わっているようです。今後も、お子様と学校生活についてたくさん話をしていただき、気付かれたことや質問等ございましたら、いつでも学校にお知らせ下さい。

<参考>保護者学校評価質問内容

- 1 あなたは、学校教育目標「一人一人が生きて輝く仁比山っ子の育成」を知っている。
- 2 学校は、ホームページ・学校便り・学級便り等で、学校の教育方針や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。
- 3 学校は、指導方法を工夫したりICT（電子黒板等）を活用したりして、学力向上に積極的に取り組んでいる。
- 4 学年で決められた時間の家庭学習ができている。
- 5 学校は、いじめが起きないように適切な指導を行っている。
- 6 学校は、子どもの安全や事故防止に努めている。
- 7 子どもさんは、読書に親しんでいる。
- 8 子どもさんは、仁比山小学校が好きである。
- 9 子どもさんは、進んであいさつをし、きちんと返事ができている。
- 10 子どもさんは、きまりを守ることができている。
- 11 子どもさんは、家庭で規則正しい生活を送ることができている。
- 12 家庭では、学校生活について子どもさんと話をし、学校での様子が分かっている。